

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	電気回路第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Electrical Circuit Theory I		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	西尾 和憲		
居室	西8-801		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishio@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
「電気回路第一」の講義内容の理解をより深めるために、演習授業を並行して行う。基本的な回路の解析およびその動作を理解するとともに、幅広い応用力を身につけることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
線形代数学第一、線形代数学第二、微分積分学第一、微分積分学第二、電気数学第一、電気数学第一演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
代数、微・積分学、電気数学などの基礎的な数学

【教科書等】
教科書： 特に指定しない 参考書： 「基礎電気回路 1・2」 末武 国弘 著（倍風館） 「電気回路を理解する」 小澤 孝夫 著（昭晃堂）

【授業内容とその進め方】
「電気回路第一」で行う講義の項目内容に関連した例題の解説や解析例を提示する。類似の問題解答をもとに、与えられた演習課題についての解答を作成し、レポートとして提出する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

授業中に行う小テストおよび配布する演習問題に対する提出レポート内容に基づいて評価を行う。また、出席状況や「電気回路第一」の成績なども加味して、次のように総合評価する。

$$\text{成績評価} = (\text{提出レポートの評価点} \times 60\%) + (\text{小テストの評価点} \times 20\%) \\ + (\text{出席状況などの評価点} \times 20\%)$$

(b) 評価基準：

下記事項の60%到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・ 講義内容に関連した例題の理解ができる
- ・ 具体的な演習課題の解答ができる

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。演習中は積極的に活用するとよい。

【学生へのメッセージ】

基本的な課題を自習・復習し、具体的な回路の解析に活用できるようにする努力が大切です。

【その他】